

辰形本高報

每月三回七ノ日發行
定價壹枚貳錢郵稅壹錢
廣告料壹行壹回貳拾錢
發行所 濱田正夫
編輯印刷人 濱田正夫
大阪市商區安堂寺通丁目
發行所 濱田日報社

申上候

鳥見早々歳將に暮れなんとす、申上候事も本年は茲に最終となつた、一月劈頭活氣満々總買人氣といふ素ほらしい盛況に切つて落されたる暮は十二月の今日不味閑散場面蕭條の裡に閉ぢられんとす、面白き始終ではないか、其間の大小事件、氣配の緊張弛緩、相場昂騰下落、顧れば随分多事なりし年であつた。

歐洲の列國は國を堵して戰て居る、疾く國敵を東洋の天地より追いたる極東の帝國の經濟界は此の一年に於て未曾有の發達を遂げた、貿易の盛況は輸出超過となり、正貨は茲に流入して七億萬を越し、諸種の工業の勃興は洵に曠古の偉觀たらんばあらずである。十二月十三日の獨逸の講和提議は本年内の重要な一事たるを失げない、時恰も熱狂の場合にあり、突然として傳へられたる此の報は戰爭に立脚せる内地市場を震動せしめた、外電は時に其雲行を報じて居るが市場は尙ほ疑心暗鬼の域を脱せぬ、將來の變轉は今日

俄に逆堵する事は出来ぬ、恐らく此の儘越年となるであらふ、以下本年中の糖界を回顧して見る事とする。
一月 歐洲戰亂勃發して既に二年我國貿易の好勢輸出超過正貨流入の聲高

歲末御伺

拜啓年内餘日無之御繁多の御事と奉存候相變らざる各位の御厚情は感謝措く能はざる處に候今後は一層の勉強を以て此の御愛顧に酬い奉らん事を期し可申倍舊御引立の程奉懇願候終りに臨み各位の目出度御越年祈上候
大正五年十二月二十七日

合名 鈴木商店支店

新春劈頭第一に株式界の活躍を始めた、一般景氣の増進と共に我糖界又漸く飛龍の兆あり、初相場分蜜先物十六圓八十五錢精糖一月物二十一圓九十五錢。満を持して賣出しを控へて居た各

に至り聯合會は産糖處分を決議して直費原糖二百八十八萬擔内獎勵輸出糖二十六萬擔とせられた、此の二十六萬擔の果して輸出せらるゝや否やは内地相場に不影響ある事となつた故に一齊

の焦點は此の數量に集れり、されど研めるに由なく一切茫として勝手の前途觀をなすのみであつた、斯くして月末迄に粗糖會社賣出數總計約七十萬擔と註せられ市場は滿腹の意となつた、黒糖は閑散極まりなき裡に越年、然かも新糖の出廻りを鶴首して待ち居たる市場は直ちに買附き高値は十錢一厘二毛を見せたるも慎重を持して変動せず月末は小康の場面となり漸次閑散に傾いた。

右を昨年一月の粗糖聯合會行惱み各社の輸出に市場渾沌として相場は急轉直下分蜜十三圓九十錢精糖十九圓八十錢崩落したのに比すれば天地の差がある儘かに戰爭による人氣の趨勢が斯くあらしめたのであつて又吾糖界が一年と世界的に醒め來たりしに起因するであらう。

二月、例年の閑散期分蜜先物十七圓二十五錢精糖二十二圓四十錢現勢稍非にして活氣に乏し、瓜哇六月積十七志ニヨーク三弗八十一仙より四弗と昇騰、英國は砂糖消費減の爲め輸入二割五分減と發表す。
黒糖亦取引不活潑不味の成行を支持し閑散限りなし。

昨年此月は原糖問題行惱みの爲め人氣氣迷ひ分蜜三四五限十五圓八十錢。
三月、氣配は二月の軟勢を受けて分蜜先物十六圓八十五錢精糖二十一圓八十五錢と崩落す、神經過敏の糖界はいとも哀れに見受け、されどこの軟勢も偶溝約二萬噸香波輸出契約の聲に市

場は一氣に五十錢以上を跳返し再び人氣旺盛となつた。

紐育は玖瑪四弗八八仙を唱へ英國瓜哇糖買付の入電に一層沸騰して先物分蜜十七圓六十五錢精糖二十二圓六十五錢となれり於茲期せずして糖商の陣營堂々たるものとなつた。

月末に至り粗糖會社總賣出百萬擔と打算さる日糖は原料として市中商人持直費より十萬を買ひたり、英國は輸入税を一ハントレットトゥエイトに付九志八片より十四志に引上げた。

黑糖は此の月に入りても依然として機運熱せず軟弱の裡に保合の商狀を維持す。

昨年は粗糖聯合會に於ける過剩糖處分問題未解決の爲め頗る不安心の相場であつた分蜜十五圓七十五錢精糖二十圓六十錢と云ふ安値を見せたるに比し本年は全く其趣きを異にせり昨は内的紛騒に壓せられて外的的刺戟なく今は外的による人氣に煽られ同時に内的事情と相呼應す。

四月、劈頭海外高に人氣高潮、玖瑪五弗より五弗五十仙瓜哇七八積十五志六片より十七志、臺南製糖聯合會を脱會す、其影響を殆どなし、月末に近づき英國瓜哇糖二十五萬屯買入れの飛電は益内地相場を高め一氣可成に分蜜十二圓九十五錢、三月初めの相場に比すれば實に分蜜糖に於て一圓二十錢の奔騰なり、時は正に櫻花爛熳、人は行樂に忙し、されど糖界益多事外、海外

暴騰は糖輸出を促がし羨殊輸出も正に一掃されんとし、内人氣の昂騰は粗糖會社未賣約の賣盡しに近づきしを思はしめた。

黑糖は不相變荷主と商人の白眼合ひ根競べにて推移し居りしが分蜜の好嚮を受けて十錢七厘を唱ふるに至りたるも自重する向もあり市場渾沌。

昨年日支問題の雲行險惡を思はしめ過剩糖問題具體的の成案を見んとして不能、分蜜十五圓四十錢精糖二十一圓の渾迷の四月に比すれば隔世の感なきあたはず。

五月、勃々の霸氣實に龍の威なる哉、月始めに精糖の發表二十三圓十錢躍進又躍進市中取引五六月二十三圓六十錢分蜜六七八月十八圓七十五錢、時を外電は頻りに高値を報ず玖瑪五弗六十二仙半、實に今年の最高である、瓜哇六月遂に十九志となる、支那商人の思惑買英國政府の買附と言はる、如斯強材料は益々買手の猛進を誘致し、終に爆發相場分蜜七八九月十九圓精糖二十四圓を見せたり、心あるものは此の項點に至りて警戒を支持す、來年新糖相場生る、十七圓三十錢より五十錢、五月の黑糖は中旬までは品薄の爲め手堅く保合來りしが、然かも荷主持はるなり買手は如何にしてこれを荷主より取らんかど肝膽を碎き旗鼓動かざりしも中札に至り大手筋は果然十一錢八厘を以て落札、相場は一時に緊張の度を増した。

昨年の五月は日支問題解決及過剩糖

處分問題互懷により一部輸出と決定し、玖瑪の四弗八八仙瓜哇七八月積十七志三片に勢を得て各一圓二十錢高の分蜜十六圓七十錢精糖二十二圓二十錢。

六月、梅雨期を前途に控へ且つ理想値に達して相場に稍不安あり利喰退きの良策なるを思はしめた、精糖二十四圓二十錢を發表す、然れども糖商各精算あり此上の猛進を許さず二旬餘相場小往來に終る又必然の趨勢である精糖明治二十二圓五十錢。

玖瑪は五弗十仙、瓜哇は十月積十八志六片下押を報じた斯くして月末に近づき梅雨霏々として至る、自然人氣は軟弱となり漸落の結果は精糖七八月二十三圓五十錢分蜜十八圓五十錢と碎けた、相場は五月が峠であつた、さしも股脈を極めた相場も一朝にして下落した。

黑糖は米價安と人梅を氣構へて沈靜十錢六厘五毛より十錢五厘見當に下る。

昨年の六月は直費十萬精糖會社へ賣込の題目のもとに大手筋の買占的態度に相場は一圓方の奔騰を見せ押買買の有利なる事に一致したに比すれば今年の六月は五月と云ふ天井相場の反動が禍した。

七月、此月に入り相場は尙漸落を續けた其原因は多々あれど精糖戰と云ふ事が最たるものであつた、新高帝國の初陣は時に利あらず、其の門出に於て痛く惱まされ市場は此等の材料に依て一層軟弱となつた、精糖七八月二十三

圓三十五錢分蜜七八九月十八圓三十錢此月も二旬を経きた、先物精糖遂に二十二圓四十錢分蜜十七圓八十五錢月初より落込事精糖一圓分蜜五十錢精糖の倍額下落は必然の結果である、連日の梅雨季に嫌氣を催し遂に投資し旗賣りの續出するに至り形勢渾沌新糖二三月四月十七圓十錢の取引を見る。

始めて新高二十二圓五十錢を發表す、精糖五マークと云ふ珍取引を見る、如斯腐敗したる市場は又新規の材料を渴望す、恰もよし外電英國の瓜哇五萬噸を買ひモリシアス島糖全部買收を傳ふ加之直費より日糖原糖へ十萬擔臺灣へ五萬擔賣約成立により人氣は俄然逆轉せり、市場は沸騰した精糖九月二十圓二十錢分蜜九月十九圓。

七月の黑糖は依然として墮氣滿々地方筋買進ま併るに精糖分蜜の人氣の餘波を受けて月末の八札十錢六厘七毛稍よし、されど取引薄伸力鈍し

昨年の七月、大手筋の買占買偏りに八九月分蜜十八圓精糖廿三圓五錢と猛進したが一般の警戒により月末大手筋の人氣轉換も施すに策なく四五十錢も崩落したに比すれば其處に人為策と自然的相場の相連あるを思はしめる。

八月、市場の思惑取引も各自の値頃観がある以上無限に伸ぶべきもので無い分蜜の十九圓精糖二十三圓二十錢は既に高い値段である就中精糖は近く起るべき競争と云ふ觀念が去らない。

七月末の好氣配も漸次薄らいで分蜜精糖共八九十錢落した精糖五マーク二十

一圓八十錢、精糖會社又策無かるべからず十八日に至り遂に三社協定値段段二十二圓五十錢を發表し人氣の轉換策につとむ。

海外瓜哇十二ギルダ一八十仙玖瑪四弗六二五より三弗八十七仙五。

黒糖荷動き少く他糖の不振に連れて一層軟弱手持擁護者は賣抜けに苦心したが人氣の萎縮は時に利あらず琉二歩十錢三厘。

昨年の八月は如何、大手筋の分蜜手持屋は人氣轉換策につとめ買取りを見せられど大勢之に伴はず更に精糖による人氣策を講せしはもとこれ人爲策、二つながら其結果は徒らに自己の苦痛を増せしのみであつた、月末遂に問題が起つた其れは思むべき受渡の論争であつた。

九月、精製糖會社の二社協定は單に相場の下押を抑制せしむるのみにして更に昂騰の因とはならなかつた、月初めは二十二圓五十錢以下の賣物の買戻を實行せし爲めに人氣稍よしかくして二十二圓八十錢の發表をなす。

中旬を過ぎて相場は又逆轉した自然に反抗せし人爲策又け呆氣無く月末に至りて三社協定共通計算は全廢となる、各社自由行動と云ふ聲に市場の一角は潰れた。

分蜜十月切十八圓二十錢。
臺灣糖來期運賃問題協定成る。
瓜哇新一二月積十八志七片、灣糖ヴァンクーパー引合始まる。

黒糖不振手持筋の腰折れに琉二歩十錢三厘取引薄。

昨年の九月、受渡紛騒によつて取引無く殆んど半死の商狀なりしに比すれば今年稍生氣あり、されど九月は例年不振の月である。

十月、玖瑪五弗より漸次高値を呼び瓜哇又舊糖の拂底を見んとし新糖十二ギルダ一五、内地一般的景氣は益好況なり従て糖界活氣充滿分蜜の如き年内の需要を満たすに足らずと言はれ手持者の意氣や大なり、爲めに市場は一齊に買煽られた、二句も過ぎて小一圓方の強行進展となつた。

十二日露國政府は三十萬噸の無稅輸入を布告した瓜哇は露國の註文を見越して思惑者の猛進となり玖瑪五弗十二仙五内地市況前亦途侮るべからざる成行を示した。

新糖十七圓四十錢。
黒糖東西市場の在荷の案外に少く品薄の地方筋は俄かに買氣を生じ相場十錢六厘と硬勢を辿る。

昨年の十月は受渡問題の解決を見て市場平靜に歸したと云ふのみであつて何等比較すべき材料無し。

十一月、大正五年の秋相場なり北濱市場黄金流れるの時外電は一報毎に高く、從て起る狂奔の爆進は目覺しきものであつた、精糖二十三圓四十錢分蜜十九圓二十錢分蜜全國在荷約十六萬。今期産糖處分は豫期せしよりも早急に

解決を告げた粗糖會社も歳をれば賢くなるもの哉。

直費原糖三百三十萬内三十萬獎勵輸出とウマク出來たり、十八日臺灣製糖會社は新糖賣出の火蓋を切る十八圓四十錢これより漸次各社の賣出となつた十九圓六十錢七十錢八十錢迄賣放れた市場益硬勢各賣出は一俵も漏さず吸ひ盡された忽ち市場精糖二十四圓六十五錢分蜜十九圓七十錢と爆進した。

瓜哇六八月十九志玖瑪五弗。
黒糖は四圍の人氣に刺戟され且地方筋猛進買付と現在糖の減少にて十一錢二厘を呼ぶ。

昨年の十一月は御即位の月であつて人氣の昂騰を豫期して居たにも不拘糖界不振の結果は遂に糖界救濟策となつたが不調に終り、月末に至り輸出好望産糖處分の成立を見んとするに當り人氣の恢復となつた、それでも精糖二十一圓三十錢分蜜三四月十六圓二十錢昨は兎の下り坂今は飛龍の昇り詰む雲泥の差とはこの事か

十二月 一舉に八十萬内外を賣浴せられたる市場は滿腹の結果墮勢となり傾値丈けに警戒を強めた、熱狂より冷靜の相場觀に移り、成程海外相場の打算よりしても内地一般的の好人氣より考へても、昨今の相場はあまり猛進過ぎたりとの念慮が冷靜に遷る毎に相場を弱らしめた。

玖瑪は入電毎に安値を齎したさしも

沸騰せし相場も漸落となり分蜜十九圓十錢は氣力無し。

突如として獨乙講和提議は傳へられた忽ち起る北濱街の騷擾鮮血慘、糖界又甚大なる影響を受けて相場は激落十九圓臺は破れて十八圓七十錢精糖二十三圓五十錢、さしも猛烈なりし取引も一朝にして瓦落、世界の大茶目カイゼルの夢見や如何。

昨年の産糖處分の調節出來新糖十六圓八十錢精糖二十一圓八十五錢と云ふ平凡なる十二月と今年の其れとは比較問題とならず

講和問題如何に世間を騒がせしが、世界始まりて以來の大戦亂これが講和せんざるものなれば事業界經濟界と言はず戦争に關連したる總てが、騷擾を極める不思議で無い、されど講和の至難なるに昭々たり、戦争は尙繼續すべしとは言ふもの、既に此問題によつて相場に大なる飛裂の生せしは事實である、そして可來講和の前提であるとしたならば、我糖界の如き此後一刻の油断も出來まい、吾等は戦後の糖界に處するの策を今より講せねばならぬ。

かくして多事なりし大正五年は正に暮れんとして居る、龍の年の眞意は此一ケ年の回顧により讀まれ得るでは無いか、正に迎へんとする大正六年とも如何なる波亂が我糖界を見舞ふべきであらうか、吾等は先づ其戰の前に沈思熟慮するを要す。

熟慮するを要す。

受電略號(オサカ、ススキ)

●大日本製糖會社製品

大阪倉渡シ〔壹俵百斤入〕
〔轉ガシ値段〕

SA	五温	廿五	圓
SK	五温	廿四	圓
SL	五温	廿參圓貳拾錢	
SB	四温	廿四	圓
SR	四温	廿參圓五拾錢	
ST	三温	廿參	圓
SW	三温	貳拾貳圓六拾錢	
SX	三温	貳拾貳圓貳拾錢	
SU	三温	貳拾壹圓九拾錢	
SO	三温	貳拾壹圓八拾錢	

御注文は成行にて勉強致候

角砂糖廿五封度入

一封度ニ付

●臺灣製糖神戸製品

〔大阪又ハ神戸倉渡シ〕
〔壹俵百斤轉ガシ〕

ESB	鹽水港製糖	拾八圓八拾五錢
TEA	帝國製糖	拾八圓八拾五錢
LSB	新 林本源製糖	拾八圓八拾五錢
TAB	臺灣製糖	拾八圓九拾錢
SAA	新興製糖	品切
NSA	新高製糖	品切
TOB	東洋製糖	拾八圓八拾五錢
TBB	臺灣製糖	品切
MMM	四温	貳拾參圓參拾錢
000	四温	貳拾貳圓九拾錢

●臺灣分蜜糖 大阪倉渡シ
直積

MS_B 治製糖 品切

DN	二番糖	品切
NSM	二番糖	品切
TOM	二番糖	品切
EBBTOM	赤 特上 二番糖	品切
TEC	二番糖	品切
TOC	臺灣赤糖	品切
NE	同	品切
好上斗	品切	
マニラ糖	大阪倉渡シ	
檜入	二枚壹俵三、四十斤入	
飛切	參號	品切
上	參號	品切
次	品	品切
アンペラ	百斤俵	品切

●臺灣白糖

鹽水白双A	印	品切
同白糖EK	印	品切
東洋白双T	印	品切
同白双星T	印	品切
東洋三温	印	品切
全星	印	品切
糖蜜		品切
△糖蜜		九圓六拾錢
日出全		品切
糖蜜		八圓八拾錢
北海道片栗粉		
一等粉	大阪倉渡シ	拾貳圓八拾錢
先物拾、拾壹月		
マカロニー		
六十ポント入一箱		拾參圓八拾錢